

男子

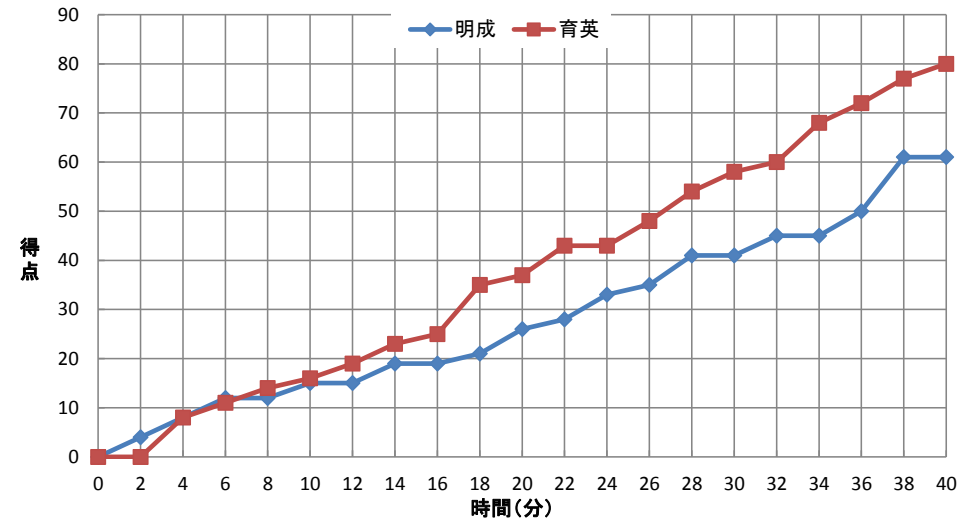
平成28年8月1日 14:30 開始

県立総合体育館大アリーナ E

明成 61 $\left[\begin{array}{ccc} 15 & 1\text{st} & 16 \\ 11 & 2\text{nd} & 21 \\ 15 & 3\text{rd} & 21 \\ 20 & 4\text{th} & 22 \end{array} \right]$ 80 $\odot$ 育英
 (宮城県) (兵庫県)

主審： 渡邊 整

副審： 和田敏文

〔 戦 評 〕

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。明成は#5を攻めの起点に、ドライブインや3Pシュート、オフェンスリバウンドからのシュートで得点を重ねる。対する育英は#5、#6の3Pシュートや、速い展開からのランニングシュートで応戦し、両者一歩も引かない。互角の展開のまま15対16で育英が1点リードし第1Pを終れた。

第2P、明成は#5のドライブや#8のポストプレーなどオフェンスに変化をつけるものの、なかなか点が伸びない。その間育英は#4の巧みなドリブルを起点にシュート決め、オールコートプレスを仕掛けて点差を広げていく。明成はディフェンスをマッチアップゾーンに切り替えて対応するが勢いは止まらず、26対37と育英リードで前半終了。

第3P、育英の攻撃を止めようと、明成はゾーンディフェンスを激しくする。また、#8のゴール下や#13の3Pシュートで得点を重ねる。しかし、育英も粘り強く攻め、#5の3Pや#15のシュートで得点を重ねる。明成のディフェンスにアジャストし始めた育英は連続でシュートを沈め、徐々に点差が開いていく。41対58、育英のリードがさらに広がり第3P終了。

第4P、開始直後から明成はオールコートプレスを仕掛け連続得点をする。しかし育英の粘り強いディフェンスにシュートがなかなか決まらず、点差を縮められない。育英はリバウンドから速いオフェンスを展開し確実に点を重ねていく。なんとか追いつきたい明成は#5の3Pシュートやドライブインで得点する。しかし育英も巧みにプレスをかわし、得点を重ねて追跡を許さない。61対80で試合終了。育英が3回戦へと駒を進めた。

戦評： 松崎健詩

記録： 五日市高校